

[目次]

本書の使い方 vii

総説 viii

第I部 比較研究の理論、重要概念 1

[歴史・概念]

比較——比較文学の「比較」を、比較諸学の「比較」と比べると 4**比較文学**——文学を何と比較するのか 8**世界文学**——比較できないものを比較することは可能なのか 12「**文学理論**」と**比較文学**——文学原論を超えた、「常識」への異議申し立て 16**フランス派**と**アメリカ派**——剛性と柔軟性 20**間テキスト性**——比較文学とは本当に相容れないのか 22**近代／近代性 (modernity)**——やっかいな「モダン」の攻略法 24**比較史**——類似と相違の確認から新たな「発見」へ 26**ナショナリズムと国民文学** ■ **比較「文学史」** ■ **越境文学** ■ **普遍** 28

[方法]

エクスピリカシオン・ド・テキスト (explication de texte) 30

——語釈から価値付けまで、どのようなルートを辿るか

影響・受容研究——何を摂取し、どのように消化し、何を捨てたのか 34**対比研究**——軸と範囲を定めて網羅的に 38**たごえ**——換喩と提喩、直喩と隠喩 42**物語論 (ナラトロジー)**——小説の語りをときほぐす 46**蔵書研究**——読んだ本は栄養となるか、毒となるか 48**比較文学と定期刊行物 (新聞・雑誌)**——豊穡な可能性への扉を開けよう 50**カノン形成、脱カノン**——読書はエリート、国民の義務？ 52**創作と言語越境**——多言語作家は珍しいのか 54**再話研究**——苦心と工夫の裏をのぞき見る「窓」 56

[翻訳] —————	
翻訳 ——原文と訳文は等価であるべきか	60
翻訳文学 ——文学の翻訳は文学か	64
翻案・改作 ——作品は誰のもの？	68
訳語 ——近代東アジアの共有財産	72
文化の翻訳 ——文化の実相を映し出す「鏡」として	74
通訳 ——その声は何を伝えるのか	76
重訳 ——翻訳の変則か、新たな文化・創作を生む営為か	78
■翻訳者の使命 ■映像翻訳 ■機械翻訳 ■自己翻訳	80
[ジャンル別比較文学] —————	
比較詩学 ——punと掛詞、脚韻と縁語	82
比較演劇 ——歌舞伎の国の外国演劇受容	86
小説の勃興 ——ジャンルの越境と変容	90
能と謡曲 ——西洋人が見た日本の劇文学	94
近代詩 ——あなたはあなたの食べたものでできている	96
詩のモダニズム ——世界性と日本の「近代」の狭間で	98
幻想文学 ——その特質とは？	100
探偵小説（ミステリ） ——探偵小説は大衆文学か	102
児童文学 ——比較文学との邂逅	104
ネイチャーライティング（自然文学） ——多文化相克の現場としてのエコクリティシズム	106
文学と政治 ——どちらが優位なのか	108
■神話・伝説・伝承・民話・説話——作者のいない語り ■動物文学	110
■自伝／自伝文学 ■文学賞・ノーベル文学賞	

[比較芸術]

比較芸術——諸芸術交歓のありさまを追って	112
クロスジャンル——人はみなクロスジャンルを生きる	116
アダブテーション論——「文芸映画」の枠を超えて	120
ジャポニスム——日本文化はいかに世界で受容されたのか	124
文学と絵画——黙せる詩はお好き？ ものいう絵は？	128
文学と写真——もはやイメージなきナラティヴは存在しない？	130
文学と映画——相互連関の運動のただなかへ	132
挿絵・イラストレーション——ただの「絵」ではない	134
文学と音楽——「あらゆる芸術はつねに音楽の状態を希求する」のか	136
美術と建築——日本の近代が違って見える	138
スポーツとアート——「間」 ^{あひら} に存立する文化を照らす	140
■ 国際的な合作や共同制作 ■ 漫画・アニメ ■ 舞踊の越境 ■ 楽器の越境	142

[比較文化]

比較文化——多様で混濁する文化へのまなざし	144
異文化理解——「理解」できたらもう「異文化」ではなく、「異文化」なら理解できない？	148
ポストコロニアル——他者像と自己を問直す	152
ジェンダーとフェミニズム、クィア批評 ——比較とは境界線上の不断の問い、新しい問題領域への挑戦	156
階級——日常と文学にひそむ文化としての階級	158
言語相対論と文化相対主義——コンタクトゾーンの力学	160
文化交流と文化交渉——文化の影響・受容の「性善説」を越えて	162
文明の衝突とグローバリゼーション——人は何を属性に新たな世界を生きるのか	164
戦争と占領——国家は戦争のための装置か	166
留学(体験)——文化の変革をもたらすもの	168
亡命、ディアスポラ——国境と言語の境界を越える文学	170
中東／西アジア——知の交差路に挑戦しよう	172
他者論、異人論——私たちではない誰かを描く 私をみつめる	174
■ 比較日本文化論 ■ 日本人論 ■ 外地(体験) ■ エスペラント	176

 [東アジアにおける比較文学比較文化]

韓国——当事者の文学から外国文学へ変化するコリアン・リテラチャー	178
中国——日本と中国の近現代文学交流の歩みをどう辿るか	182
台湾——日本統治期の文学を中心に	186
東アジアのモダニズム——20世紀の新感覚って？ 100年前の最尖端って？	190
漢文学と日本（前近代）——漢詩文が創り出す自由とは？	194
植民地（満洲）の日本語文芸——拡大する「帝国」の文壇	196
在日文学——朝鮮近代文学から「在日する」者たちの文学へ	198
東アジア藝術における西歐——交差する美学、新しい造形の誕生	200

 第Ⅱ部 比較研究の読書案内 203

——比較文学・比較芸術・比較文化を深く知るために

比較文学への道	205
1 比較文学への道 その1	205
2 比較文学への道 その2	208
初めて学ぶ人の本棚	211
文庫・新書の本棚	215
もっと読みたい人の本棚	219
1 ハンドブック著者たちの53冊	219
2 比較研究の先達たち	222
3 日本の新しい比較研究26選	223
4 21世紀海外の比較文学研究動向を垣間見る邦訳8選	225
より深く研究したい人の本棚	226

第Ⅲ部 専門研究への道しるべ	227
1 比較研究者になるために	229
2 比較文学関連学会（国内）	231
3 国際比較文学会（ICLA）	232
4 フランスの学校教育と <i>explication de texte</i> ——バカロレア合格への第一歩	232
5 世界と日本の比較文学雑誌	233
6 各国の比較文学研究史	233
6-1 フランス	
6-2 アメリカ	
6-3 カナダ	
6-4 ロシア	
6-5 韓国	
6-6 中国	
7 比較文学比較文化の教育現場と将来——日本と韓国における社会調査	234
8 オーラルヒストリー：比較文学者に聞く 1 川本皓嗣	235
事項別参考文献	236
人名索引	260
著者一覧	270